

府教委がねじ曲げた！ 講師別枠採用試験制度



大阪教育合同労働組合 講師協議会 第2047号
 大阪市中央区北浜東 1-17
 日本ワイドデータビル8階 06-4793-0633

「経験に着目する制度」、破棄！

3月31日府教委と「講師別枠採用試験制度」について団体交渉を持ちました。この交渉は、2年目になる表記制度に対してその主旨を質し、本来の制度の主旨（現在約3000人いる定数内講師の数を減らし、長年働いている講師の賃金を教諭と同じ2級に格付けするための制度）に戻し、受験者の大半が合格するように運用することを求める団交でした。

2008年度教採合格率概略

経験10年の受験資格者数	643人
実際の受験者数	354人 (55%)
一次試験合格者数	128人 (36.2%)
二次試験合格者数	71人 (20%)
・一般枠合格率	2138 ÷ 9001 (23.6%)
・現職枠合格率	93 ÷ 182 (51%)

交渉では、「この制度の運用で講師を減らすと言っているが、現実には減っていないことをどう考えているのか」と言う組合の質問に「何人かは減っている。この合格者数から見ても分かるように、「講師経験者別枠採用試験」の合格者数は20%にしかすぎず

4月の講師協議会

4月の講師協議会を下記の日程で開きます。新年度が始まりなにかと忙しいことと思いますが、講師別枠採用試験への対応、第20回組合大会への参加など、検討課題が多くあります。誘い合わせて参加して下さい。

記

- 1)日時 4月19日(土)
- 2)場所 組合事務所
- 3)議題
採用試験について
組合大会について
職場交流
その他

現職教諭の51%には遠く及ばず一般枠の23%にもなりません。このことは、府教委が本気で講師のことを考えていない結果が現れています。

講師を減らす、と言っておきながら、たつた71人しか合格させていません。これでは3000人の講師をなくすことはとうていできません。2級格付けされた講師も3000人の中の極一部でしかありません。組合はこれらの事実を指摘し、制度を本来の主旨に戻し、受験者の大半を合格させるよう強く求めましたが、府教委は組合の主張には耳をかさず、あげくの果てに、「受験資格を10年から5年に短縮する。」と言いだしました。

講師別枠採用試験受験資格を5年に短縮！！

昨年3月に行った2度の団交で、「講師の経験に着目して採用試験を行うには経験は10年は必要である。」と言って、「経験に重点を置いて選考する」と説明してきたのが嘘であったかのように、5年に短縮すると言っています。

経験を5年に短縮することの意味

経験を5年に短縮するねらいについて交渉の中で明らかになったのは、講師枠の受験者を増加させるために枠を広げる、と言うもの

でした。要するに制度が不人気で受験者が少ないと、担当者の面目が立たない、ひいては制度が潰れてしまふ、と言うのです。5年に短縮すると、受験資格者が470人ほど増えて、全体で約1000人になり受験者も増えるはず、と言っています。

二割の合格率で受験者が増える？

「経験に着目し」という経験が10年に決まっていたいきさつをすべて無視して、朝令暮改のごとく変更されるのです。受験者の20%しか合格せず判定基準も分からず、通るためにどのような「勉強」をしたら良いのかも分からない中で、枠を広げたからと言って受験者が増えることはあり得ません。府教委のこのような態度に交渉参加者は強い怒りの声を表明し、交渉は紛糾しましたが府教委の態度は変わりませんでした。

今年の教員採用試験の受験について

組合では3月15日と22日の2度に渡り、講師を中心とする緊急集会を開き、今年度の「教員採用試験」への対応を協議しました。多くの意見が出されましたが、その時点ではこの件での府教委交渉で府教委の対応を見てから最終判断しよう、と言うことになりました。

団体交渉の結果、昨年1月～3月にかけて府教委が組合に説明してきたこの制度の主旨と反して、

講師のつまみ取り、府教委に都合のよい者だけをとる制度、大阪府教委はこのような制度で講師のことを考えていますよ、と言っています。リバイ作りに利用しようとしていることが明らかになりました。組合は講師賃金の2級格付けを要求し、実現させていく方針に変わりはありませんが、まやかしのこの制度をほっておいては2級格付け要求の実現に支障があります。この制度に反対の立場を取らなければなりません。

しかし、現実にはこの制度で教諭になる道も0でない限り、受験する講師組合員の行動を否定することはできません。そこで差し迫った今年の採用試験の受験については、当該講師組合員の判断を尊重することを確認しました。

組合としては今後、この別枠選考制度の問題点を積極的に批判する立場をとりますが、組合員個人の別枠選考受験は、個人の判断で行なうものとなります。

